

経営比較分析表（令和6年度決算）

岐阜県郡上市 日吉駐車場

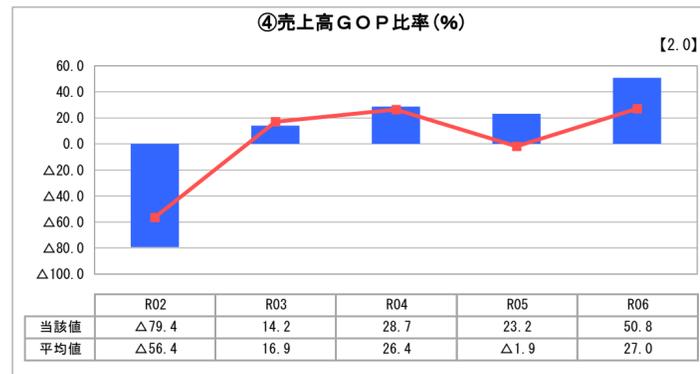
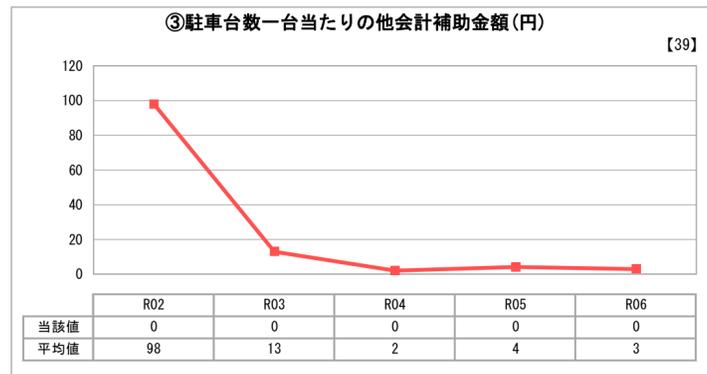
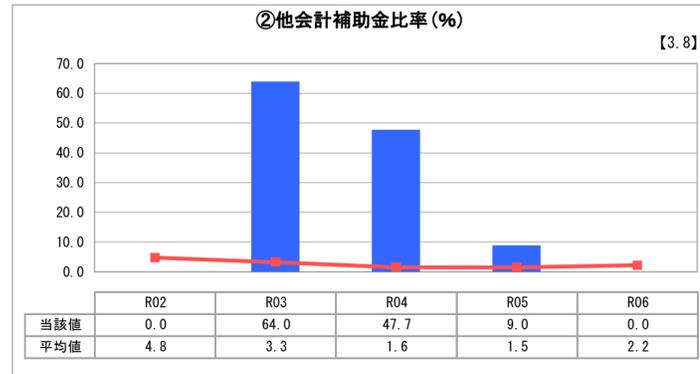
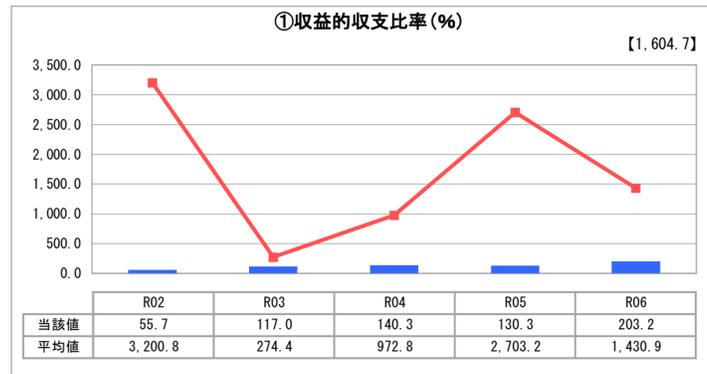
業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A 3 B 2	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	その他駐車場	広場式	53	

立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
無	無	673
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
25	150	無

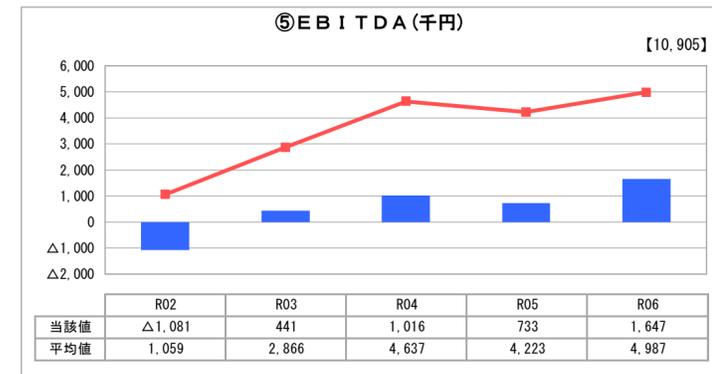
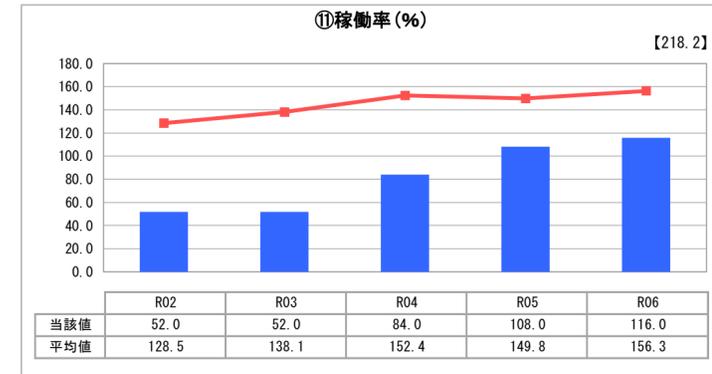
グラフ凡例

- 当該施設値(当該値)
- 類似施設平均値(平均値)
- 【】 令和6年度全国平均

1. 収益等の状況



3. 利用の状況



2. 資産等の状況

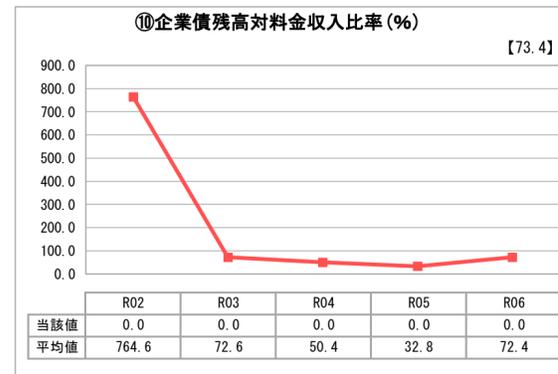


⑦敷地の地価(千円)

18,595

⑧設備投資見込額(千円)

0



分析欄

1. 収益等の状況について
 収支的収支比率は203.2%であり、前年を上回っています。新型コロナウイルスの影響から観光客が回復したためと思われます。
 なお、繁忙期における収入が、イベント期間の日程や天候によって大きく左右されることや、降雪による除雪費用が年度によって異なるため年度により収支にばらつきがでることがあります。

2. 資産等の状況について
 平成30年度に料金精算システムを更新したことで大きなトラブルなどなく、安定的な稼働が可能になっています。

3. 利用の状況について
 稼働率は116.0%で、昨年度より100%を上回っております。当該駐車場については夏季の繁忙期とそれ以外の時期で利用率の差がありましたが、繁忙期以外での安定的な利用増が要因と思われます。
 周辺地域の駐車場不足もあり、住民サービスとして今後も必要な駐車場になります。

全体総括
 駐車場としては小規模であり、収支や利用率などは全国平均からみても数値は低いですが、当市の駐車場事情を考えると、今後も設備の修繕等を含めて維持していく必要があります。

経営比較分析表（令和6年度決算）

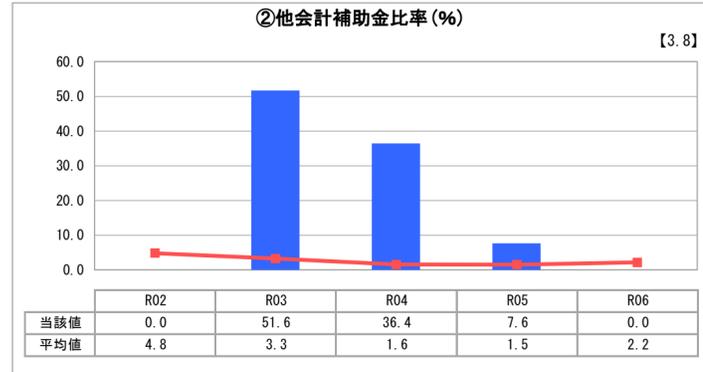
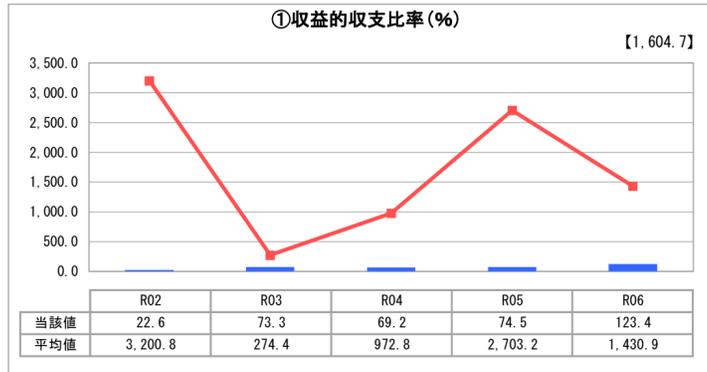
岐阜県郡上市 愛宕駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A3B2	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	その他駐車場	広場式	38	

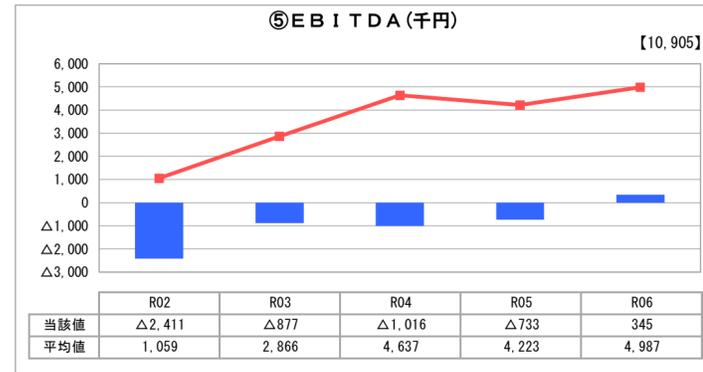
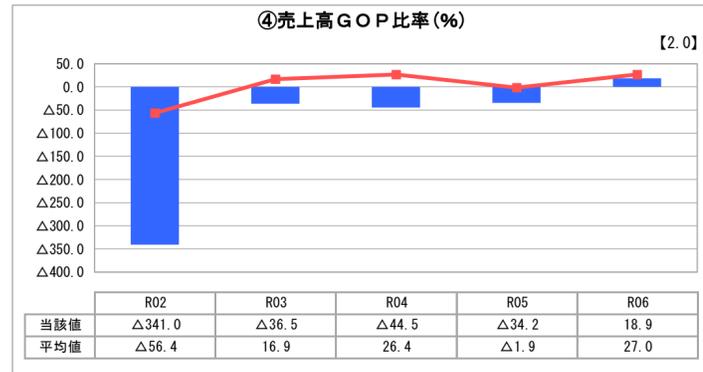
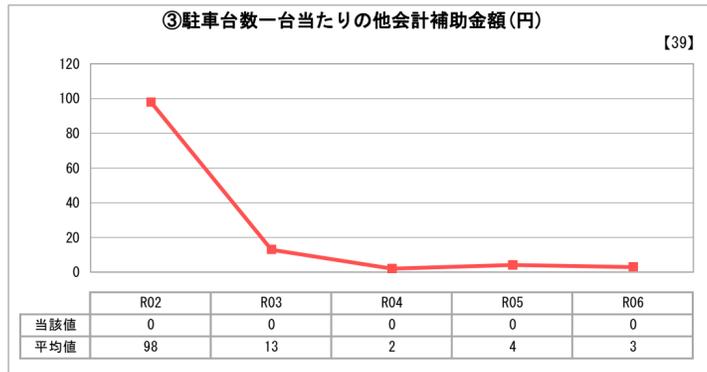
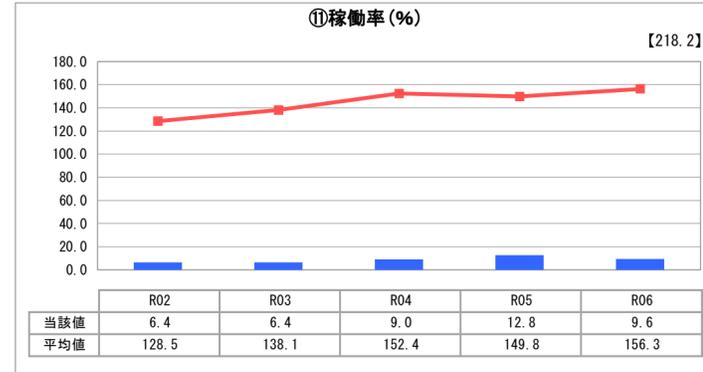
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
公共施設	無	1,918
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
156	150	無

グラフ凡例
■ 当該施設値(当該値)
— 類似施設平均値(平均値)
【】 令和6年度全国平均

1. 収益等の状況



3. 利用の状況



2. 資産等の状況

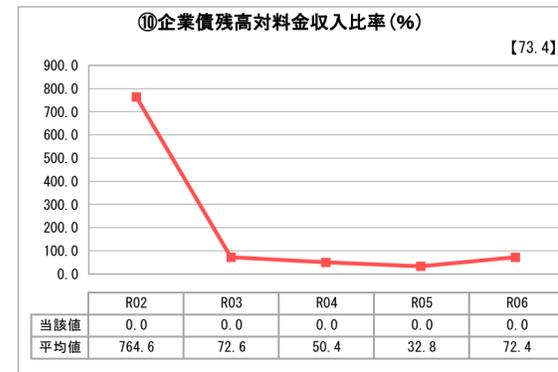


⑦敷地の地価(千円)

101,260

⑧設備投資見込額(千円)

0



分析欄

1. 収益等の状況について
 収益的収支比率は123.4%で、目標値の100%を上回っています。機器のリース期間が終了したため、今年度より収支が黒字となっています。なお、繁忙期における収入が、イベント期間の日程や天候によって大きく左右されることや、降雪による除雪費用が年度によって異なるため年度により収支にばらつきがでることがあります。

2. 資産等の状況について
 平成30年度に料金精算システムを更新したことで大きなトラブルなどなく、安定的な稼働が可能になっています。舗装の劣化がみられるため、近い将来整備が必要となっています。

3. 利用の状況について
 稼働率は9.6%で非常に低い数値となっています。これは当該駐車場の運用によるもので、営業日を3月～11月の土・日・祝日のみとしていることや、営業日に隣接公共施設でイベント等が行われる際、無料開放することがあるためです。稼働率は低いです。住民サービスとしての駐車場機能や市職員駐車場としての使用もあるため、今後も必要な駐車場になります。稼働率を上げるため、イベント等が行われる際は無料開放せず、無料認証機を極力活用していることや、また今後冬季間や平日の営業を検討しています。

全体総括
 収支や稼働率の数値を見ると全国平均値より低くなっていますが、平日においては市役所職員駐車場としての使用や、隣接公共施設の駐車場としての利用がある点、また、近隣に当該駐車場以外の大規模な駐車場が整備されていないため、夏季の繁忙期においては観光駐車場として必要な点などから、今後も設備の修繕等を含めて維持していく必要があります。